

# Vincent Dureuil-Janthial

ヴァンサン デュルイユ ジャンティアル

リュリーで最も古い歴史を持つ自然派ドメーヌ

コート・シャロネーズ地区のリュリー村にドメーヌを構えるヴァンサン・デュルイユ・ジャンティアルは、この村で最も古い家族経営のドメーヌの1つで、その歴史は13世紀に遡ります。1994年に現当主のセリーヌとヴァンサン・デュルイユがドメーヌを受け継ぎました。総面積約20ヘクタールの自社畑は、コート・シャロネーズ地区を中心に、コート・ド・ボーズ、コート・ド・ニュイを含め約20以上のアペラシオンに跨ります。2001年から農薬の使用を止め、2008年までに自社畑の実質60%を有機栽培へ切り替え、月の満ち欠けに合わせた栽培・瓶詰を实践。2009年より、エコセルから正式に有機栽培認定を受けています。

デュルイユのワイン造りは、葡萄畑に始まります。毎年7月中旬頃までに土壌を掘り起こし耕作することで、土に空気を入れ、雑草を取り除きます。この他、必要であれば新芽や葉の摘み取りを行って適度に収量制限を行うことで、湿気を軽減し、病気やカビの発生を防いでいます。収穫は、葡萄が十分に熟すのを待ってから全て手作業で選みし、ピュアな果実味に心地よいミネラル感、程良く良質な酸を湛えた美しく引き締まったハリのあるスタイルに仕上げています。

ドメーヌで使用する樽は全て、現在ブルゴーニュで最も良い樽を造る樽メーカーと言われるシャサン社から購入し、各キュヴェに合わせて特別に樽の中の焼き加減を調整しています。

《ワインアドヴォケート誌 2022年8月26日掲載記事より》：ヴァンサン・デュルイユについて全て語られているだろうか。ワインのコメントで「タレント(才能)」という言葉あまりにも多く目にする。確かにデュルイユには才能があるが、非常に勤勉で、また常日頃から上質なワインを嗜む経験豊富なテイスターでもある。それゆえに彼のワインは非常に素晴らしい。本誌のレビューがきっかけになったかもしれないが、ドメーヌ・デュルイユ ジャンティアルがブルゴーニュの高評価生産者の一つとして称賛されるのは、時間の問題だった。2020年は、2017年のキレと緊張感、2018年の魅力的で優雅なスタイルを持ち合わせた予想通りの素晴らしい出来となった。これらのワインは、これまで同様に苦勞してでも手に入れる価値のある秀逸なワインだ。(記者:ウィリアム・ケリー)

■テクニカル情報■ ドメーヌ所在地:フランス東部ブルゴーニュ地方コート・シャロネーズ地区リュリー村  
畑の総面積:17ha  
所有アペラシオン:20箇所 栽培:有機栽培(2009年~2016年エコセルより公式認定) 土壌:主に粘土・石灰岩質

【白ワインの醸造】醸造:手摘みで収穫し、破碎せず直接圧搾。48時間ダブルバージュさせた後、樽に移してアルコール発酵(新樽は全てシャサン社から購入)、12ヶ月樽熟成させ、6ヶ月ステンレスタンク熟成。月の暦に合わせて瓶詰。

【赤ワインの醸造】醸造:手摘みで収穫し、振動する選果台を2台使って選果・除梗し(年によっては除梗せず)、円錐台形の木桶で1週間低温マセラシオン。新樽率20~30%のキャスクでマロラクティック発酵・12ヶ月樽熟成、ステンレスタンクで6ヶ月熟成。月の暦に合わせて瓶詰。

■2020年ヴィンテージ情報■《バークハウンド#88 2022/10/10掲載記事より》：ヴァンサン・デュルイユ「病害のプレッシャーもさほど無く、霜も降りなかったので作業は楽でした。収穫量は、シャルドネは50hl/ha程度で今回に限っては妥当な収量でしたが、ピノは果実が小さく、果汁も少なかったため、25hl/haとやや厳しい結果になりました。8月25日~9月4日にかけて収穫し、収穫した果実の多くは、これまでにないほど健全でした。潜在アルコール度数は2019年よりも低く、平均14%でしたが、2020年は全て13~14%の間でした。白ワインは、少しバトナーージュを行いました。2020年は、非常に素晴らしい白ができましたが、赤は本当の意味で偉大な年だと思います。」  
デュルイユは一貫したスタイルを持ち、その品質は傑出しており、白、赤ともに優れている。デュルイユは、2020年の白は2022年3月、4月に瓶詰。赤は4月に瓶詰めを行った。また、デュルイユの白は、長期熟成を考慮して瓶詰を行っているため、酒齢が若いうちに飲む場合は、15分程デキャンタすることをお勧めしたい。

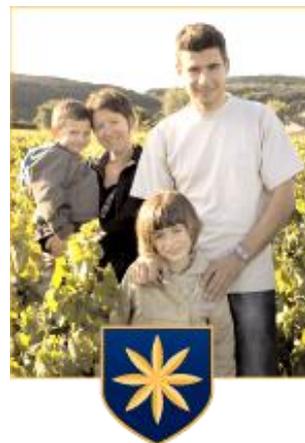
## ~White Wine~

### 2020 Bourgogne Aligoté

ブルゴーニュ アリゴテ

【辛口/白】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー東部(AOCブルゴーニュ・アリゴテ) 畑:パ・ド・ショシュエ  
品種:有機栽培アリゴテ100% 植樹:1985年 土壌:粘土・酸化鉄

★パーカーポイント 89点:レモンの皮、オレンジオイル、爽やかな青リンゴ、マッチ、焼きたてのパンのアロマを若々しい還元香の魅力的なニュアンスが縁取る。ミディアムボディでサテンのような滑らかさとキレのある鮮やかな酸が長い余韻を生む。《飲み頃:2022-2033年 | 2022/8/26掲載》



## 2020 Rully Blanc

上代価格 ¥7,500 (税別)

リュリー ブラン

JAN:4543190175319

リュリー・ブランは、リュリー南部のグレンシーというクリマに属する複数の区画から収穫しています。畑の下層土は粘土石灰岩質で小石を多く含み、朝日が豊かに降り注ぐ東向き斜面を持ちます。

【辛口/白】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー南部(AOCリュリー) 品種:有機栽培シャルドネ 100%  
畑面積:28.3ha 植樹:1920年 提供温度:12℃ 醸造:約20%新樽を使用

★パーカーポイント 90+点:快活で深みのあるアロマを持ち、洋ナシ、焼きたてのパン、メイヤーレモン、ミント、ヘーゼルナッツのニュアンスが香る。ミディアム〜フルボディの豊かな味わいで、サテンのような滑らかさ、生き生きとした酸、エレガントさを兼ね備えた完璧なスタイルを持つ。美しいバランスが印象的。

◀飲み頃:2023-2040年 | 2022/8/26掲載▶

★バグハウンド 88点:柑橘類の皮と青リンゴの涼しげな香りの背景に微かにペトロールを感じる。豊潤でまろやかなミドルウェイトの味わいで、クリーンかつドライな後味に快活な酸が広がる。もう少し深みが欲しいところではあるが、村名レベルの白にしては上質の味わいだ。

◀飲み頃:2025+年 | #88 2020/10/10掲載▶



## 2020 Rully Blanc Les Maizières

上代価格 ¥8,300 (税別)

リュリー ブラン レ・メジエール

JAN:4543190175326

メジエールとは、フランスの古語で、「石で造られた壁」を意味します。この名前の由来にはいくつもの説がありますが、多くの人は、ガロ・ローマ時代からこの畑の近くに残る廃墟とこの呼称を結び付けて考えています。

【辛口/白】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー) 品種:有機栽培シャルドネ 100%  
畑面積:1.99ha/日当たりの良い東向き斜面 植樹:1997~2001年 土壌:粘土質 醸造:約20%新樽を使用  
提供温度:12℃

★パーカーポイント 91点:爽やかなグリーン系果実、桃、白い花、ナツメグの香り。サテンのような滑らかさを持つ魅力的なミディアム〜フルボディの味わいで、豊かなアタックに続いて、肉付きの良い、生き生きとした味わいへと変化していき、突き抜けるようなフィニッシュで締めくくられる。デュルイユでは、通常、この日当たりの良い緩斜面の区画から収穫を開始する。◀飲み頃:2025-2045年 | 2022/8/26掲載▶

★バグハウンド 88点 Outstanding(傑出したワイン):仄かなロースト香を帯び、煮込んだプラム、ダークベリーのリキュール等の熟したアロマにインパクトのある大地のニュアンスが香る。ミドルウェイトの味わいは、繊細ながらも素朴な印象で、やや硬さを伴う後味が長い余韻を生む。

◀飲み頃:2027+年 | #88 2020/10/10掲載▶



## 2020 Rully Blanc Chênes

上代価格 ¥8,300 (税別)

リュリー ブラン シェーヌ

JAN: 4543190175333

「シェーヌ」とは、フランス語で櫛の木(オーク)という意味で、ブドウが植樹される以前、この場所に櫛の木の森が生い茂っていたことに由来を持ちます。デュルイユの自社畑の中で最もミネラリーなワインを生む畑の1つ。

【辛口/白】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー) 品種:有機栽培シャルドネ 100%  
畑面積:1.01ha 植樹:1975年 土壌:白い石灰岩とマールが混合 醸造:約20%新樽を使用

★パーカーポイント 91+点:例年通り、晩熟の2020年リュリー・シェーヌは、デュルイユの村名レベルのワインの中で最もくっきりとした輪郭を持つ。柑橘類のオイル、爽やかな洋ナシ、マッチ、白い花、焼きたてのパンのアロマが香る。サテンのように滑らかさと鋭刺とした酸を備えたミディアム〜フルボディで、ミネラル感を伴う後味が長い余韻を生む。飲み頃まで忍耐が必要だ。◀飲み頃:2025-2045年 | 2022/8/26掲載▶

★バグハウンド 89点 Outstanding(傑出したワイン):洋ナシ、白い花、ペトロールのアロマを程よい樽香が縁取る。魅惑的で心地よいミディアムボディの味わいは、パンチが効いており、並外れた持続性とドライさを兼ね備えているが、後味にはそれ程硬さは感じられない。このレベルのワインにしては上質で、手にとって見る価値がある。◀飲み頃:2026+年 | #88 2020/10/10掲載▶



## 2020 Rully Blanc 1er Cru Le Meix Cadot

上代価格 ¥9,500 (税別)

リュリー ブラン プルミエ クリュルメカド

JAN:4543190175340

メ・カド、ラ・ショーム、ラ・ベルジュリの複数区画から成るクリマで、アン・ゲンヌと呼ばれる2区画の村名畑の間に位置する一級畑。クリマの名前の由来は、昔の小作地制度にあり、ブルゴーニュ地方で「Meix」は小作地のことを指し、「Cadot」はゾーヌ・エ・ロワールで非常によく見られる苗字のため、地主のことを指していると考えられます。この区画から採れるシャルドネは、ストレートで張りのある味わいの白ワインを生みます。

【辛口/白】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー中心部(AOCリュリー・プルミエ・クリュ)  
品種:有機栽培シャルドネ 100% 畑面積:1.01ha 植樹:1975年 土壌:粘土・石灰岩質 醸造:約20%新樽を使用

★パーカーポイント 93+点:桃やピュアな蜂蜜、白い花、焼きたてのパンのアロマを持つ。サテンのように滑らかな質感を伴う官能的なミディアム〜フルボディで、豊かなアタックに続いて、口中を包み込むような果実味が広がり、並外れた緊張感とキレがこのキュヴェの2017年を彷彿とさせる。この区画の古樹から造られたワインが欲しくなるのは当然だが、2020年のキュヴェを見逃すべきではない。◀飲み頃:2025-2045年 | 2022/8/26掲載▶



★**バークハウンド 90 点**：青リンゴ、潰したフェネル、様々な柑橘類のアロマに仄かなオークのニュアンスが香る。リッチでふくよかなミディアムボディの味わいで、上品な質感があり、レモンを思わせる快活な酸がワインのバランスを保っている。このワインも中期的熟成が効く。◀**飲み頃:2027+年 | #88 2020/10/10 掲載**▶

## 2020 Puligny Montrachet Corvée des Vignes

上代価格 ¥15,000 (税別)

ピュリニイ モンラッシェ コルヴェ デ ヴィーニュ

JAN: 4543190175357

【辛口/白】産地:コート・ド・ボーン地区ピュリニイ・モンラッシェ北部(AOC ピュリニイ・モンラッシェ・ヴィラージュ) 品種:有機栽培シャルドネ 100% 植樹:1956年/1958年 土壌:粘土質 畑:日照量が豊かで早熟な区画 醸造:約 20%新樽を使用



★**パーカーポイント 91 点**：洋ナシ、爽やかな青リンゴ、シトラスオイル、バター風味のペストリーのアロマにナツメグ、タラゴンのニュアンスが香る。肉付きの良いチャーミングなミディアムボディ〜フルボディで、豊かな果実味を核とし、鮮やかな酸、塩気を帯びた後味を持つ。デュルイユのリュリーのトップキュヴェに比べてより柔らかく、より豊かな要素を備えている。◀**飲み頃:2025-2045年 | 2022/8/26 掲載**▶

★**バークハウンド 90 点 Outstanding(傑出したワイン)**：、豊潤で凝縮感を湛えた肉付きの良いミディアムボディで、並外れたパワーと卓越した持続性を持つ。エレガントというより、素朴な印象だが、このレベルのワインとしては、素晴らしいクオリティを持つ。◀**飲み頃:2027+年 | #88 2020/10/10 掲載**▶

## 2017 Puligny Montrachet 1er Cru Champs Gains

上代価格 ※オープン (税別)

ピュリニイ モンラッシェ プルミエ クリュ シャン ガン

JAN: 4543190165082

【辛口/白】産地:コート・ド・ボーン地区ピュリニイ・モンラッシェ北部(AOC ピュリニイ・モンラッシェ・プルミエ・クリュ) 品種:有機栽培シャルドネ 100% 植樹:1974年 土壌:粘土石灰質 醸造:約 20%新樽を使用



★**パーカーポイント 93 点**：素晴らしい出来映えで、熟した柑橘類、出来立てのペストリー、白桃、アーモンドペーストのアロマを絶妙な新樽のニュアンスが縁取る。ふくよかさや重層的な味わいを備えたミディアム〜フルボディで、見事な凝縮感と上質なテクスチャー、生き生きとした酸を持ち、緻密な後味が長い余韻を生む。◀**飲み頃:2024-2050年 | 2019/8/1 掲載**▶

★**バークハウンド 92 点 Outstanding(傑出したワイン)**：可憐な花のニュアンスと仄かな樽香が漂う。コクと丸みを帯びた心地よい味わいはエネルギーを湛え、見事なボリューム感と凝縮感が口中に広がる。深みと持続性を備えたワイン。熟成させることでより複雑さが増していくだろう。◀**飲み頃:2027+年 | #76 2019/10/10 掲載**▶

## ~Red Wine~

## 2020 Côteaux Bourguignons

上代価格 ¥4,300 (税別)

コトー ブルギニオン

JAN: 4543190175265

【辛口/赤】産地:コート・シャロネーズ地区リュリー東部(AOC コトー ブルギニオン) 品種:有機栽培ピノ・ノワール 90%、ガメイ 10% 畑:ドメヌス近くのリュリー村東部、リュレディ:モルドルー(畑面積:0.5ha/植樹:1970年/土壌:粘土質)

■コメント■ 赤いベリー系果実やクローブ、花びらのアロマが香り立つ。生き生きとしたジューシーなミディアムボディで、瑞々しい果実味と程良いタンニンが特徴。



## 2020 Bourgogne Rouge

上代価格 ¥5,800 (税別)

ブルゴーニュ ルージュ

JAN: 4543190175272

【辛口/赤】産地:コート・シャロネーズ地区(AOC ブルゴーニュ) 品種:有機栽培ピノ・ノワール 100% 畑:プリモー・プリセイ村(面積:0.42ha/植樹:1968年/粘土質)70%、ピュリニイ・モンラッシェ村(面積:0.96ha/植樹:1969~2004年/粘土質)30% 醸造:新樽率 33% 提供温度:16°C

★**パーカーポイント 89 点**：プラム、スパイス、バラの花びら、ローム層の土壌の魅力的な香り。生き生きとした快活な味わいのミディアムボディで、ピリッとした酸、とろけるようなタンニンがある。デュルイユの素晴らしい入門編ワイン。◀**飲み頃:2022-2033年 | 2022/8/26 掲載**▶

★**バークハウンド 86 点**：際立つ大地の香りとともにプラムやブラックチェリーのアロマが感じられ、リッチで丸みを帯びた滑らかな味わいへと続く。素朴さを感じさせる後味には深みがあり、長い余韻が続く。しっかりとした構造を持つ。◀**飲み頃:2024+年 | #88 2020/10/10 掲載**▶



## 2020 Rully Rouge

上代価格 ¥7,500 (税別)

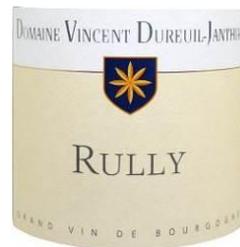
リュリー ルージュ

JAN:4543190175289

【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー村(AOCリュリー) メ・カド(一級畑)、アン・ロゼイ、モンターニュ・ド・レムノの3区画より収穫されたブドウを使用 品種:有機栽培ピノ・ノワール 100%  
畑:メ・カド(面積:1.33ha/植樹:1978年/粘土質) アン・ロゼイ(面積:1.08ha/植樹:1974年/粘土石灰岩質)  
モンターニュ・ド・レムノ(面積:0.33ha/植樹:1980年/石灰質) 醸造:新樽率 33% 提供温度:16℃

★パーカーポイント 90+点:チェリー、スモーキーなベリー、エキゾチックなスパイス、ローム質土壌の香りに生カカオのニュアンスが感じられる。生き生きとしたミディアム〜フルボディで、ピリッとした酸、熟したタンニン、塩気のある長い余韻があり、この暖かなヴィンテージの中でも非常にダイナミックな味わいを持つ。少なくとも5年は熟成させて、花開いていく様子を見守りたい。《飲み頃:2025-2045年 | 2022/8/26 掲載》

★バークハウンド 87点:熟したブラックラズベリー、掘り起こしたばかりの土、野生を思わせる香りを仄かな樽香が綺麗に縁取る。力強さ、濃厚さ、豊潤さを兼ね備えたミディアムボディの味わいで、やや力強いタンニンが、堅牢で軽くグリップの効いた後味を支え、最高潮を迎える。ブルゴーニュと同じく、素朴で気取らないところに好感が持てる。《飲み頃:2025+年 | #88 2020/10/10 掲載》



## 2020 Rully Rouge En Guesnes

上代価格 ¥8,300 (税別)

リュリー ルージュ アン ゲンヌ

JAN:4543190175296

メ・カドの一級畑で隔てられた2区画の畑がこの村名リュレーディに属しています。ゲンヌとは、「湿地」という意味を持ち、この区画に豊かな水があることを暗示しています。

【辛口/赤】 産地:コート・シャロネーズ地区リュリー村南部(AOCリュリー) 品種:有機栽培ピノ・ノワール 100%  
畑:1級畑メ・カドに隣接する2区画(畑面積:計 1.34ha/植樹:1950年・1978年/粘土質)

★パーカーポイント 92点:チェリー、プラム、ラズベリーのアロマに大地やスパイスが香る。ミディアム〜フルボディで、豊かで広がりのある味わいが幾重にも層を成し口中を包み込む。生き生きとした酸と上質なタンニンがあり、飲み頃の幅が広い。《飲み頃:2025-2045年 | 2022/8/26 掲載》

★バークハウンド 88点:よく熟したフレッシュなアロマを持ち、レッドチェリーやブラックチェリーのリキュール、スパイス、大地のニュアンスに程よい樽香が溶け合う。柔らかさと豊かさを湛えた贅沢な味わいで、後味は、やや素朴さを感じさせるものの、バランスの良い洗練された余韻が長く続く。若いうちから楽しめるワイン。《飲み頃:2026+年 | #88 2020/10/10 掲載》

